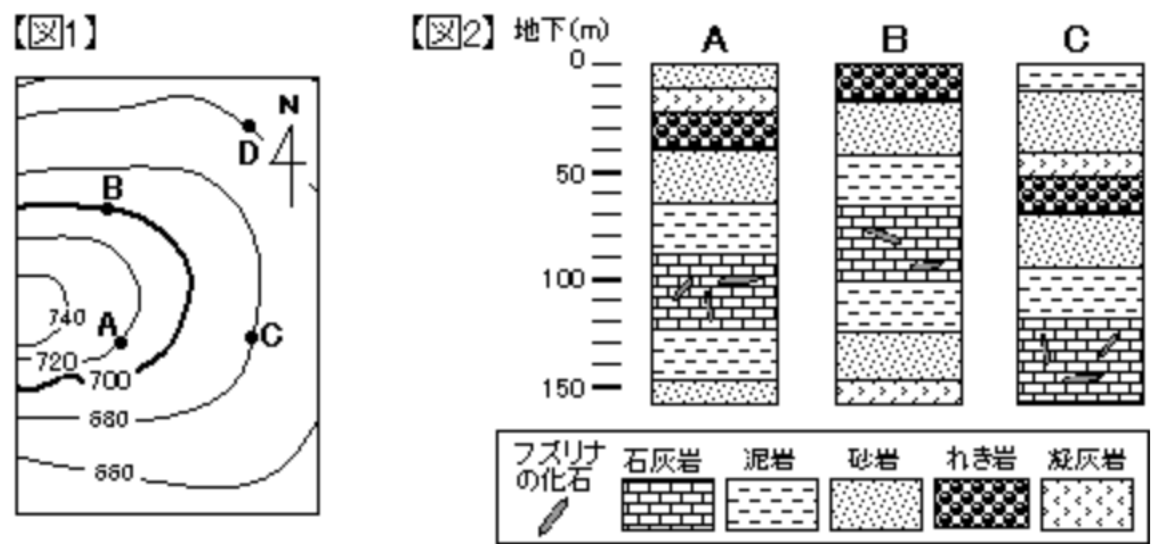
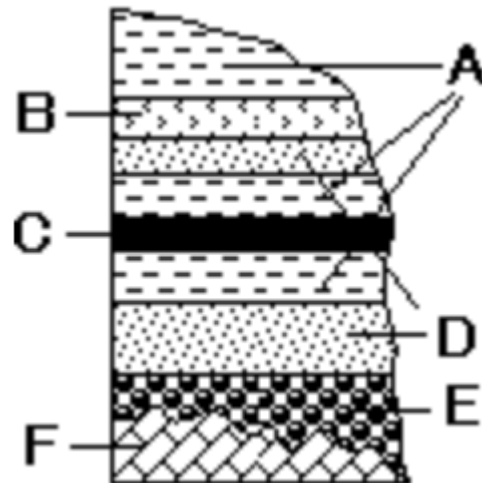


問題 1. 図 1 の地形図における A～D の地点で地層を調査した結果、図 2 のような柱状図を得た。この付近の地層は、同じ方向に傾いていることがわかっているとして次の問いに答えなさい。ただし、各地点のれき岩層上端の地表からの深さは、A 地点 20m、B 地点 0m、C 地点 50m である。



- (1) A～C どの地点の地層にも石灰岩層があり、フズリナの化石を産出した。この石灰岩層が堆積したと考えられるのはいつか。地質年代で答えなさい。
- (2) 石灰岩層の上端から上方 60m の区間の地層が堆積したとき、海の深さはだんだんどうなっていったときだと考えられるか。
- (3) A 地点のれき岩層上端が堆積した後、この付近でどんなできごとがあったと考えられるか。
- (4) D 地点で鉛直下向きに穴をほると、地表から何 m のところでれき岩層が現れるか。

問題 2. 右図はある露頭の様子を模式図で示したものである。A～F の 6 種類の岩石層から成り立ち、これらは水底で堆積し、地殻変動はなかったことがわかっているとき、次の問いに答えなさい。



- (1) いちばん古い岩石層は A～F のどれか。記号で答えなさい。
- (2) C 層・F 層は生物の死がい堆積し、長い年月で変化してできたものである。C 層・F 層からそれぞれ少量を採取し、塩酸をかけたら、F 層の試料から二酸化炭素が発生した。F 層をつくっている岩石は何であると考えられるか。
- (3) B 層から少量を採取し、うすい切片を拡大して観察すると、火成岩にふくまれる鉱物が多く含まれていることがわかった。B 層をつくっている岩石は何であると考えられるか。
- (4) A 層・D 層・E 層は岩石を構成している粒の大きさに分類できる。構成している粒の大きさは A 層で 0.06mm 以下、D 層で 0.09～1.8mm、E 層で 2mm 以上であった。A 層・D 層・E 層をつくっている岩石はそれぞれ何であると考えられるか。
- (5) 詳しい調査の結果、C 層は古生代石炭紀に堆積したシダ植物が変化してできた石炭層であることがわかった。C 層と隣接した A 層から産出するのは、どの化石と考えられるか。次からすべて選び、記号で答えなさい。

ア.サンヨウチュウ

イ.ビカリア

ウ.ナウマンゾウ

エ.フズリナ

オ.メタセコイア